和教時報

2024年４月15日（月）発行　第2008号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

つながりを深く感じる 春をむかえました

伊都支部
スタート講座（教育基礎講座）のとりくみ

伊都支部　書記長　**窪田　賢**

数年前から全県的に新規採用者の数が増えています。伊都地方でも小・中・支援学校合わせて三四名の方が採用され、今年度も新卒新採の教職員が多いように思います。

そんな中で、初めて教壇に立ち、子どもたちと送る学校生活に期待と不安を抱いていることでしょう。

先輩教師から普段から大切にしてきたこと、例えば日記指導や学級通信を通して仲間づくりや子どもとつながるためのの実践を聞いて、「私もこんな取り組みをしてみたい」と思ってもらったり、「子どもたちとの学校生活が楽しみ」と思ってもらえればと教育基礎講座に取り組んでいます。

講師先生から「同僚性を大切にし、しんどい時は、まわりの教職員に相談しよう」などこれからの教職員生活に参考になることをハナして頂いたのに残念なことに今年度新採者の参加者がいませんでした…

那賀支部
長い間、おつかれさまでした
第48回全組集会

那賀支部　書記長　**部家　司好**

三月三〇日（土）に第四八回全組合員集会を開催しました。昨年まではコロナ禍もあり、四年ぶりに全組合員を対象に開催しました。退職される先生三人を含む二七名の参加でした。退職される先生方に支部から感謝状と記念品を贈り、ご苦労様とお疲れ様の気持ちを伝えました。退職される先生方のあいさつでは、組合に加入したきっかけや、自分自身の組合活動について、和教組が勝ち取ってきた権利などについて、本当に意義深い話を聞かせてもらうことができました。どの先生も、組合の大事さや仲間の大事さを語ってくれました。

また、支部の新旧役員のあいさつのあと、新しい職場に異動される先生方にも前に出てきてもらい、みんなで激励して集会を終わりました。

輝いてワンショット

給料あげよ!!
（2023県中央メーデーより）

ピンのスポット 418

三月三一日に奈良教育大学附属小学校の教育を守る市民集会が行われました。保護者、大学の研究者、附属小の教職員など四一二名の参加でした。附属小の実践は指導要領の内容をより工夫し、充実させる内容で多くの保護者の方に支持されていました。集会の中で特に印象に残ったのは保護者の方の発言でした。子どもたちが校長先生に大好きな先生を異動させないでほしいと訴えに行き、そのとき校長先生は「心配しなくていいから」と答えておきながら、多くの先生が異動（出向）させられていたのです。そして子どもたちは校長先生のこの態度を集会で発言してほしいと保護者に頼んだという内容でした。

文科省や大学、県教委の対応は子どもたちのためになっているでしょうか？

附属小の子どもたちの主権者意識とあきらめないという思いを知った集会でした。（Y）

和歌山市支部

子どもの思いを大切にした学級づくり

和歌山市支部　書記長　田畑　雄介

四月六日、毎年恒例、学級づくりを交流するスタート講座を実施しました。今年は、中之島小学校野尻剛史先生が学級づくりの実践報告をしてくれました。「自分の得意なことを見つけよう」「一人でがんばりすぎず、周りを頼ることを大切に」「黄金の三日など気にせず、子どもたちとじっくり関わろう」という野尻先生の報告の後、校種別に分かれて交流をしました。青年部がグループの司会をして、若い初任の方もしゃべりやすそうでした。未組合の中学校初任者一名、小学校の初任者一名と二年目の方一名が参加してくれました。各グループで先輩たちのアドバイスを受けて、子どもたちの思いを大切にした学級づくりについて、深めることができました。

海草支部

春の交流会　4/5(金)

海草支部　書記長　目﨑　涼斗

組合員の先生や、未組合員の先生、講師の先生など総勢一七名が集まり、晩御飯を食べながら交流をしました。あすの教師塾に興味を持ち、その場で組合に入っていただけた先生もいました。交流会のトーク内容はルーレットで参加者に回してもらって決めました。組合員の先生方に組合に入った理由を聞いたり、支援学級の児童との学習した経験を紹介したり、全教自動車保険の紹介もしたりと、本当に多種多様な話題がありました。交流会後もそれぞれで話し続ける様子がみられ、大いに盛り上がりました。

有田支部

今年はお子様連れでも参加できる催しを計画します

有田支部　書記長　清水　恵

三月二八日、教育会館には、子どもを含めて三九人が集まりました。退職される方の居る職場からは、全組合員が参加してくださり、にぎやかに集会を始めることができました。

退職者を拍手でお送りし、支部からは、退職、転任される方々にエールを送るとともに、新年度の取り組みについてお願いをさせていただきました。学習会や講座だけでなく、昨年度から進めている、お子様連れでも気軽に参加できるような行事を今年度もできるだけ多く計画することを提起し、参加を呼びかけました。

最後は、ステーキ肉セットやお米などの賞品が並ぶビンゴゲーム。子どもも含め全員が商品を手に笑顔で集会を終えることができました。

日高支部

「教えて！日高のせんぱい」&「じむしょくびらき」

日高支部　書記長　井戸　保

日高支部では、四月六日（土）午前一〇時から「教えて！日高のせんぱい」と「じむしょくびらき」を開きました。

「教えて」では、学級開き、新年度の準備、生徒指導等について、先輩の実践を聞きました。その後参加者が小学校勤務の方だけだったので、低・高学年に分かれ交流しました。新卒や二年目の先生たちから授業参観や生活指導等における不安等が出され、他の参加者から様々なアドバイスがありました。

「じむしょく」では、年

忙しいからこそ、「集まり」「語り合う」ことを大切に！

執行委員長　武田　正利

新年度がスタートしました。今、「政治と金」の問題や大軍拡・戦争する国づくりを進める自公政権に対する国民の怒りが大きく広がっています。二〇二四年度は、政治の流れを大きく変えて、国民のいのちと暮らしを守り、教育や社会保障の充実を実現するための重要な一年となります。

多忙解消・働きやすい職場づくり、教育・教職員の自由と自主性を守る課題も重要です。競争と管理の教育ではなく、一人一人の子どもたちの成長・発達を保障する教育を実現するとともに、教職員定数改善や学級編成基準の改善、保護者負担軽減など教育条件整備を前進させるために、忙しい中ですが、「集まり」「語り合う」活動に取り組み、仲間を増やしていきましょう！

度初めて忙しい中、一〇人が集まってくれました。「小学校の教科書改訂で、大量の仕事があって…」「年度末から昨日まで本当に疲れた…」等仲間の顔を見て話ができ、お菓子をつまみながら楽しい時間になりました。未組合員も参加してくれ、「組合員になると、助け合うことができるよ。ぜひ一緒に」と話もできました。もう少しで加入してくれるかなと思っています。

西牟婁支部
新学期直前のスタート講座 学級びらき

西牟婁支部　支部長　松葉　秀伸

西牟婁支部では四月七日（日）の一〇時～一二時に、西田千寿子さん（日本レジリエンス教育研究センター代表理事、小児発達博士、元小学校教員）を招いて「学級開きのいろは～子どものミカター」という演題で学習会を行いました。当日は新学期前日の忙しい中、五名の先生（うち新卒新採一名）が参加してくれました。

「子どもの特性」「子どもたちとの接し方」「学級づくりのための活動」などのお話の後、参加者からの質問や悩みなどを出し合い交流を行いました。

参加者は少なかったですが、あっという間に時間が過ぎとても充実した講座となりました。今後もこのような講座を開催したいと思っています。

東牟婁支部
どの子も見捨てず、人のぬくもりが実感できる教育を！

東牟婁支部　書記長　中西　弘美

始業式から一週間が過ぎた一二日（金）、土佐いく子先生を講師にお招きしスタート講座を行いました。クタクタの日々を過ごしたにもかかわらず、三二名の参加がありました。新採八名を含む若い先生方がたくさん来てくれました。

〝子ども理解〟のためには、「子どもは未熟、だから指導せねば…（管理の目）」ではなく、「子どもは自ら育つ力をもっている…子どもっておもしろい、子どもって力があるなあ（共感の目）」という教師の教育観が大事であることを学びました。

また、土佐先生の経験談から、表面上に見える子どもの言動だけで判断するのではなく、その背景にあるものや子どもの想いまで見ることなど、子どもの見方を教えていただきました。あっという間の二時間半。元気や力をいただき、充実した時間となりました。

もう一度行きたい

あんなトコ こんなトコ ええトコ

1

美ら海の珊瑚礁

常任執行委員　木野　卓也

私がもう一度行きたい所は、石垣島です。石垣島には、二〇一一年三月一二日から二泊三日で、当時所属していた岩出中学校の学年旅行で訪れました。島の南東部白保海岸で、若手教職員三名とシュノーケリングを体験しました。北半球最大規模のアオサンゴの大群落を見るため、ウェットスーツに身を包み、マエザト食堂が経営するボートに乗って、ダイビングスポットに案内されました。余談ですが、初めて訪問したにもかかわらず、船長は日焼けした私をウチナーンチュと間違え、「ニィニィ、前に来たことあるサー」と言っていました。

サンゴを見ながら、透明度の高い海中を泳いでいくと、百花繚乱のサンゴの大群落。まさに竜宮城でした。警戒心のない色とりどりの魚たちが、身体の周りに群がって、私たちを出迎えてくれました。初めて見る光景で、一年間の疲れが癒やされた瞬間でした。

現在は、開発による赤土の流出や、地球温暖化の影響による海水温の上昇で、サンゴの「白化現象」が進行しているそうです。ゆたかな自然環境を守るために、一人ひとりの意識を変革し、ＳＤＧｓが実現されることを願っています。

新任のごあいさつ

常任執行委員　木野　卓也

今年度、本部の常任執行委員を務めさせていただきます。年度末の人事異動で、仙渓分校を去ることになりました。まずは、新しい職場の雰囲気や取り組みに早く慣れて、組合活動と両立できるよう努力していきたいと思います。そして、子どもと教育を守り発展させるために、奮闘したいと思います。一年間、よろしくお願いいたします。

2024年度 あすの教師塾（オンライン併用）日程

日　程	曜	時　間	内　容	会　場
４月14日	日	13:30～16:30	教育法規 ①	和歌山県教育会館（和教組）
４月28日	日	13:30～16:30	教育法規 ②	和歌山県教育会館（和教組）
５月12日	日	13:30～16:30	教育政策	和歌山県教育会館（和教組）
５月26日	日	13:30～16:30	教育史	和歌山県教育会館（和教組）
７月６日	土	9:00～12:00	小論文 ①	和歌山県教育会館（和教組）
		13:30～16:30	面接対策	和歌山県教育会館（和教組）
７月27日	土	9:00～12:00	小論文 ②	和歌山県教育会館（和教組）

※7/6の「面接対策」は実参加のみで「オンライン」はありません。